

災害発生時の配置職員数

1. 一人の市長が270万人対応⇒4人の特別区長が60～75万人に対応
2. 全特別区において区役所庁舎に配置される職員が増加
3. 各特別区に災害対策本部を設置し、地域の実情を踏まえた災害対策を実施

職員数のイメージ図

現在(大阪市)

大阪市長 約270万人に対応



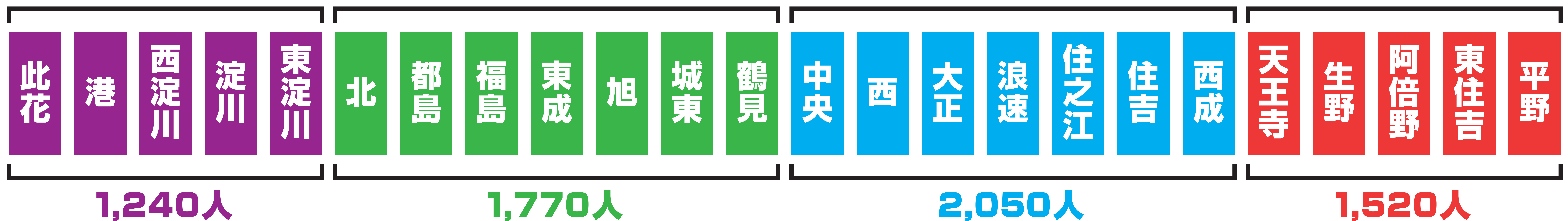
特別区設置後

淀川区長 約60万人に対応

北区長 約75万人に対応

中央区長 約71万人に対応

天王寺区長 約64万人に対応



※特別区設置協定書の住民説明会資料等より作成